な　が　や　ま　っ　子

校訓　「広げようやさしい心　きたえようじょうぶな体　育てよう学ぶ力」
龍ケ崎市立長山小学校学校だより　　令和７年９月１日　No. ９

前期後半のパワーアップに向けて

夏休みが明け、校内には子供たちのにぎやかな声が戻ってきました。夏休み中は、ご家庭・地域の皆様のお力添えのもと、子供たちはさまざまな体験を通して心身ともに成長することができたことと思います。命を守るための行動や、思いやりの心、自ら考えて行動する力など、学校では学びきれない大切なことを学ぶ貴重な時間であったことでしょう。

さて、これから始まる前期後半は、学習面でも生活面でもパワーアップできる、大きな節目となる大切な時期です。子供たちがこれまで学んだことをさらに深め、友達と協力することの喜びや達成感を感じながら、一人一人がさらに成長できるよう、私たち教職員一同、全力で支援してまいります。

今後とも、ご家庭・地域の皆様と連携を深めながら、子供たちの健やかな成長を見守り、支えていきたいと願っております。引き続きのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

＜前期後半のパワーアップに向けて重点として取り組んでいること＞

○「いいところメガネ」

４月から、相手の長所の目を向ける「いいところメガネ」を合言葉に、互いのいいところを見つけ、声に出して伝え合う取組を進めているところです。この「いいところメガネ」は、相手のがんばりや、小さな優しさに気付こうとする「心のメガネ」です。児童には、友達のいいところをたくさん見つけるだけでなく、自分のいいところもたくさん見つけるように伝えています。互いのよさを見つけ合い、認め合うことを通して、児童に自信と思いやりの心を育てていきたいと考えます。

○ペアやグループでの学び合い、聴き合う関係づくり

すべての学年の授業で、ペアやグループでの学習活動に取り組んでいます。ペアやグループでの学習において、友達の考えを聴くことで、児童は自分が気付いていなかったことに気が付くことができます。また、自分と異なる考えを聴くことを通して、自分の考えを広げたり、深めたりすることができます。学び合うこと、聴き合うことは、児童に自分で考え、主体的に学ぶ力を付けることにつながると考えています。

また、児童同士で学び合うことを通して、学ぶ楽しさや粘り強くチャレンジした達成感を味わいながら学習課題に取り組むことができるようにしたいと考えています。単元によっては、自分で学習計画を立て、どこまで理解できているかを担任と一緒に確認しながら、友達と分からないところを聞き合いながら学習に取り組む形態を取り入れる等の工夫をしています。